

かつて、阿賀野川の中流域では、その独特の風土と歴史が生み出した、特色ある地場産業が盛んだった。
しかし、昭和40年代、新潟水俣病の発生を境に、「人と人の絆」「人と自然の関係」が失われ、やがて流域も低迷し始める。そして現在、地域の未来を切り拓くために、地場産業が様々な試みを模索する中、あの頃の光と影の記憶を見つめ直し、流域の未来へどうつながっていくか。

光と影の記憶をどう未来へつなげるか。

阿賀野川 最後の帆船 (昭和25年、旧五泉・笹堀) 撮影: 木村清氏 提供: 木村仁巳(ひとみ)氏

パネル展

阿賀野川と共に生きたあの頃 ～ 風土と歴史が織りなす光と影 ～

阿賀野川中流域の光と影の歴史をテーマとしたパネル展を、五泉市・阿賀野市の各施設等で開催します。〈観覧無料〉
(*一部、入館料が必要な施設があります。)

● 期間

2012

1/21 ~ 5/27

主催 新潟県

共催 五泉市・阿賀野市

後援 新潟市・阿賀町

協力 咲花温泉・村杉温泉・安田温泉

企画 阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業事務局
(一般社団法人あがのがわ環境学舎内)

■ お問い合わせ

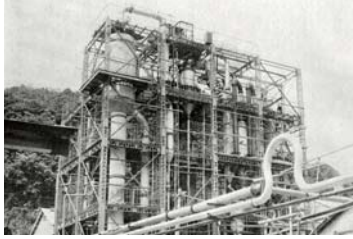
一般社団法人あがのがわ環境学舎

TEL/FAX : 0250-68-5424

<http://www.aganogawa.info/>

● パネル展開催スケジュール

期 間	会 場	時 間
1/21 ~ 2/9 <small>* 毎週 (月)・1/27 休館</small>	五泉市立図書館	9:30 - 17:00 <small>* 平日は 9:30 - 18:30 まで</small>
2/11 ~ 3/1 <small>* 不定休につき、休館とさせていただきます。</small>	咲花温泉 望川閣	10:00 - 16:00
3/3 ~ 3/18 <small>* 毎週 (月)・3/15 休館</small>	阿賀野市立図書館	9:30 - 17:00 <small>* 平日は 9:30 - 18:00 まで</small>
3/20 ~ 4/8	安田温泉 やすらぎ <small>* 入館料が必要</small>	9:30 - 22:00
4/10 ~ 4/26	道の駅「阿賀の里」	9:00 - 17:00
4/28 ~ 5/10 <small>* 毎週 (火) 休館</small>	五頭山麓うらの森	9:00 - 17:00 <small>* 土・日・祝日は 8:30 - 17:00 まで</small>
5/12 ~ 5/27 <small>* 毎週 (月) 休館</small>	水原ふるさと 農業歴史資料館	9:30 - 16:00



●ミニパネル展(*)も同時開催!

(*ミニパネルは、通常パネル[A1サイズ]の半分の大きさですが、内容は全く同じです。)

期 間	会 場	時 間
1/21 ~ 2/9 <small>*1/23・1/28・1/30・2/6 休館</small>	保健福祉センター 京和荘	9:00-17:00
2/11 ~ 3/1	村杉温泉 長生館	10:00-16:00
3/3 ~ 3/18	宝珠温泉保養センター あかまつ荘 <small>*入館料が必要</small>	9:30-20:00
3/20 ~ 4/8	咲花温泉 碧水荘	10:00-16:00
4/10 ~ 4/26 <small>*毎週(土・日)休館</small>	水原郷病院	8:30-17:00
4/28 ~ 5/10	阿賀野市安田公民館	9:00-21:30
5/12 ~ 5/27	さくらんど温泉 <small>*入館料が必要</small>	9:30-21:30

阿賀野川の中流域で織りなされた光と影の歴史を通じて

阿賀野川中流域は山地から平野へと地形が変化する地点に位置し、阿賀野川と早出川が合流する影響から、かつては川が何本にも分岐するほど頻りに河道を変遷させ、人々は洪水のたびに甚大な被害に悩まされてきました。さらに、今でも山から川へと吹き下ろす局地風「ダシの風」が吹き荒れるなど、その独特な風土が人々の暮らしに様々な影響を及ぼしてきました。

その反面、日本が近代化を遂げる明治から昭和の高度経済成長期にかけ、この独特な風土の影響を受けて、草水石・安田瓦・川砂利・酪農・船頭・漁業など様々な地場産業が生まれました。

特に、近代化に必要な資源や資材を提供する地場産業が発展し、阿賀野川もそれらを運搬する舟運で栄えました。

しかし、阿賀野川と共に生きてきた中流域の人々の暮らしは、新潟水俣病の発生が確認された頃から、その影響も一因となり地域社会の中の「人と人の絆」が失われ始め、「阿賀野川と人々」の関係も疎遠になっていくなど、急激に変化していきました。このように新潟水俣病を始め日本各地で公害問題が表面化した昭和40年代は、時代が曲がり角を迎えており、その後、日本は低成長の時代に突入して、地方を中心に長い停滞に苦しむ現在に至ります。

今回のパネル展をご覧いただき、阿賀野川中流域の光と影の歴史を通して過去を見つめ直していただくと共に、疲弊する地域の現状を打破しようと試行錯誤する現在の地場産業の方々の奮闘を通して、流域の未来について皆さんと一緒に考えを深めていただければ幸いです。



撮影：山口冬人氏

■2009年度パネル巡回展

草倉銅山の光と影 ~ 鉱山に魅せられた人々 ~



■2010年度パネル巡回展

鹿瀬・昭和電工・阿賀野川 ~ 光と影を織りなしてきた歴史 ~



阿賀野川流域地域フィールドミュージアム事業とは?

通称「阿賀野川え〜とこだプロジェクト」(略称「FM事業」)。阿賀野川流域の各地域が今も続く新潟水俣病と向き合い、それを乗り越えるような「人と人の絆」や「人と自然の関係」を紡ぎ直すため、流域の住民・行政・民間団体が手を取り合い、「新しい流域づくり」を目指して始まったプロジェクト。

※展示希望者には無料で貸し出し中! お問い合わせください。